

90.7.26

日本標準商品分類番号					
8	1	2	3	4	4

日本薬局方

沈降炭酸カルシウム

効能・効果

下記疾患における制酸作用と症状の改善。

胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症をよめて）

用法・用量

沈降炭酸カルシウムとして、通常成人1日1～3gを3～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

●使用上の注意

1 次の患者には投与しないこと

甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能亢進症の患者。

2 次の患者には慎重に投与すること

- 1) 腎障害のある患者
- 2) 心機能障害のある患者
- 3) 便秘のある患者
- 4) 高カルシウム血症の患者

3 副作用

1) 代謝異常 高カルシウム血症、アルカローシス等の電解質失調があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。

2) 長期・大量投与 腎結石、尿路結石があらわれることがある。

3) 消化器 悪心、便秘、またまれに胃酸の反動性分泌等の症状があらわれることがある。

4 相互作用

1) テトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害することがあるので、同時に服用させないこと。

2) 本剤の吸着作用又は消化管内・体液のpH上昇により、併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがあるので、慎重に投与すること。

3) 大量の牛乳との併用によりmilk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4) ビタミンDとの併用により高カルシウム血症があらわれやすくなるので、注意すること。

製造発売元

合名会社 金田直隆商店
大阪・道修町